

東名古屋病院だより

平成27年1月発行 第60号



(附属リハビリテーション学院)

理 念

私たちは、医の倫理を守り、患者さんの気持ちを尊重し、
より質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんへの医療内容の説明と患者さんの同意を医療の基本とします。
2. 地域に密着し、心の触れ合いを大切にした医療を提供します。
3. 常に自己研鑽に励み、医療人としての専門的知識・技術の習得に努め、皆様に信頼される安全で最新の医療を提供します。
4. 健全な経営を維持して療養環境の整備に努め、安心して快適に療養できる病院を目指します。

目 次

2 P：巻頭言
3 P：病気とのつきあい方
4 P：看護部紹介
5 P：部署紹介
6 P：緩和ケアチーム

7 P：トピックス（第10回東名セミナーを開催しました）
8 P：地域医療連携室
9 P：新任医師紹介・新年の御挨拶
10 P：外来案内、外来診察担当医表



独立行政法人 国立病院機構
東名古屋病院
NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION
HIGASHI NAGOYA NATIONAL HOSPITAL

〒465-8620
名古屋市名東区梅森坂5-101
TEL 052-801-1151
FAX 052-801-1160
ホームページアドレス
<http://www.tomei-nho.jp/>

新任のごあいさつ



院長 野浪 敏明

平成27年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。

平成26年11月1日より内海 眞前院長の後任として、院長に着任しました野浪敏明でございます。今後、東名古屋病院の理念（医の倫理を守り、患者さんの気持ちを尊重、より質の高い医療の提供）を遵守して職員が一丸となって良質な医療を行うために精一杯尽力したいと思っております。

東名古屋病院は、国のセーフティネットといわれる、結核医療、重症心身症医療、神経難病診療などに加え、回復期リハビリテーション医療を積極的に推進して、この地域のみならず、愛知県内外からも多くの患者さんを受け入れて皆様方のお役に立っていることと思います。さらに当院では、総合内科、循環器内科、消化器内科、血液・腫瘍内科などの一般的な内科や、外科、泌尿器科、整形外科などのいわゆる通常の一般的な医療にも力を入れて積極的に診療を行っています。

東名古屋病院は名東区と日進市の境界に位置しています。しかしながらこの名東区と日進市には一般医療を担う基幹病院がなく、例えば外

科手術が必要な患者さんは他の地域の病院で手術を受けなければならないといった状況も発生していました。今後東名古屋病院では地域住民の方々のニーズに応え、利便性の面からも当院での外科手術を積極的に受け入れていく方針です。

これまでの外科は4名（消化器外科3名及び呼吸器外科1名）で対応しておりましたが、平成27年1月からは消化器外科6名、呼吸器外科1名の計7名体制で診療、手術に対応していく予定です。

私は前任地（愛知医科大学病院）で消化器外科教授ならびに病院長として働かせていただき、肝・胆・膵の高度手術を専門としてまいりました。この経験を活かして、当院でも消化器外科高度手術、肝・胆・膵のみならず、胃、大腸などの消化器手術も積極的に進めていきたいと考えております。もちろん、最近普及してきている鏡視下（腹腔鏡下、または胸腔鏡下）手術も積極的に行います。

このようにこれまでの東名古屋病院の方針を一部変更させて頂き、一般医療の分野においても地域の皆様のお役に立ちたいと考えております。地域の方々に気軽にご利用して頂ける、開かれた明るい病院にしていきたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。



痙縮およびその治療法について(その2):ボツリヌス療法

リハビリテーション科医長・脳神経外科医長 竹内 裕喜



今回は痙縮とはどのような症状なのか、そしてその治療方法についてご説明しました。今回はその中でボツリヌス療法を詳しく取り上げたいと思います。ボツリヌス療法とは、ボツリヌス菌が作り出す天然のたんぱく質(ボツリヌス毒素)を有効成分とする薬を筋肉内に注射する治療法です。ボツリヌス毒素には、筋肉を緊張させている神経の働きを抑える作用があります。そのためボツリヌス毒素を注射すると、筋肉の緊張をやわらげることができるのです。毒素というと何やら恐ろしい治療のように思われるかもしれませんが、痙縮に有効な成分のみを使用し、ボツリヌス菌そのものを注射するわけではないので、ボツリヌス菌に感染する危険性はありません。ボツリヌス療法の副作用として脱力の他、飲み込みにくい、呼吸が苦しい、発赤、けいれんといった症状があげられますが、通常このようなことは減多に起こらず、極めて安全性の高い治療方法といえます。実際ボツリヌス療法を行うとどのようなことが期待できるのかといいますと、前回ご説明した拘縮の予防にもなりますし、手足の筋肉がやわらかくなり、動かしやすくなることで、日常生活動作(ADL)やリハビリテーションが行いやすくなります。他にも痙縮による痛みを緩和することができます。ただ、患者様やご家族の中には、ボツリヌス療法により麻痺そのものが治ると誤解されているかたがいらっしゃると思いますが、残念ながら麻痺の改善は期待できません。また、1回の注射で通常3～

4ヵ月間しか効果は持続しませんので、治療を続ける場合には、年に数回、注射を受けることになります。また、一度に注射できる単位数は上肢は240単位、下肢は300単位、上下肢合わせて360単位までと決められており、限られた単位数で、十分な効果を得るためには、異常肢位の原因となっている痙縮筋に的確に施注しなければなりません。異常肢位の原因となっている筋肉は患者様によってまちまちで、どの筋肉に施注する必要があるのか、予め医師の診察が必要となりますが、理学療法士、作業療法士も痙縮のエキスパートであり、もし患者様に担当の理学療法士、作業療法士がいる場合は、まずは日頃から患者様の状態を把握している理学療法士、作業療法士に相談してみるのもよいと思います。ボツリヌス毒素製剤は100単位の薬価が約9万円と非常に高価で、1回の治療費がかなりの高額になります。医療費には一定の金額を超えた部分が払い戻される高額療養費制度がありますが、治療費が無駄にならないよう、ボツリヌス療法の適応について主治医とご相談ください。痙縮が上肢または下肢全体に及ぶ場合はもやはボツリヌス療法での改善は難しく、このような場合はバクロフェン髄腔内投与療法(ITB)が選択されます。次回はこのバクロフェン髄腔内投与療法を詳しくご説明します。

看護部紹介

外来看護

当院の外来は呼吸器内科・呼吸器外科・神経内科・整形外科・消化器内科・消化器外科脳神経外科・血液腫瘍内科などこれまでの診療科に加え女性泌尿器科・乳腺外科・禁煙外来など1年程前より新しく診療科を増やし22の診療科を開設しています。特に泌尿器外来では、人にはなかなか相談しにくいおしっこの悩み等についてお聞きしております。排尿がしたいと思うと我慢できず漏れてしまう、咳や運動で漏れる、反対に尿がすっきりでない、排便がすっきりしないなどの症状でお悩みの方はぜひ一度受診してください。

乳腺外来では専門医による乳がん検診や乳房症状の診察を行っています。最新のマンモグラフィやエコーにて乳がんの早期発見に努めています。症状が無くても、年に一度の検診をお勧めしています。

禁煙外来では、禁煙をしたくてもなかなか自身ではやめられない方、ご主人に禁煙してほしいけどやめてくれなくてお困りの奥様など、禁煙に関してのお悩みのご相談を承っています。当院禁煙外来では、医師による診察と、看護師によるカウンセリングを行い、それぞれの患者様に合った禁煙方法をご提示しています。関心がある方は一度、呼吸器内科外来（Aブロック）の掲示板にこれまでに禁煙成功された方の感想などが掲示していますので、ぜひご覧ください。

平成26年10月より新たに消化器外科の医師が増員になり胆・肝・膵臓の検査、治療にも力を注いでいます。職場などの定期健康診断で受診を勧められた方や他院よりのご紹介も随時、承っています。アルコールなどで肝臓が疲れている方も是非一度、消化器外科に受診をしてください。



外来師長 寺谷 里代

救急外来においては24時間救急当番の医師が対応できるように準備しています。

症状が悪化したり、急変時は一度お電話をいただき、当院で対応ができるかどうか判断したうえで診察をさせていただきます。当院での治療が難しいと判断された場合は適切な病院への紹介もいたしております。

外来看護師はいつも笑顔で明るく、患者様の声に耳を傾け、高齢者の患者様にもわかりやすい説明ができるよう常に心がけております。また受診の際、医師に聞きづらいことや、説明でわかりづらかったことなどがあれば、ご説明いたしますので気軽にお声掛けください。いつもと異なる症状で、どの診療科に受診すればよいかわれた際にはご相談いただければ適切にご案内いたします。



医師診察



看護師面談

部署紹介

薬剤科の仕事

皆さんこんにちは。

今回は皆さんもご存じの薬に関するところを取り上げながら薬剤科の仕事を紹介します。

“医薬分業ってご存じですか？”

簡単に答えると“病院が院外処方せんを出すこと”です。

医薬分業の目的のひとつめは、街の薬局でお薬ののみあわせ等のチェックをしてもらうことにあります。もしかかりつけ薬局があればそこで、なくてもお薬手帳を持って行けばお薬を受け取る薬局でチェックをしてもらえます。その時にはお薬手帳は複数持たないで、ひとつにまとめることをおすすめします。もうひとつの目的として、外来患者さんに院外処方せんを発行することにより、“病院の薬剤師は入院の患者さんに関わってください”という意味があります。これについては、お薬の説明や副作用のチェックなどを通して、安心して薬を服用してもらえるような支援ケアをしています。

院外処方になって病院薬剤師は院内の仕事が増えました。日常業務と言われる調剤、注射の払い出し、お薬の問い合わせに回答、お薬の管理をする仕事、それ以外にも、患者さんへ服薬指導、持参薬確認、注射薬の調整、がん化学療法への関与、医薬品の適正管理、チーム医療への参画などもおこなっています。

当院は入院する患者さんの持ってみえる薬(持参薬)について、ほぼ全て薬剤師が確認しています。この時にお薬手帳があると非常に助かるので持ってきてくださいね。持参薬をチェックして当院で採用されていない薬の場合、代替薬を提案し、そのまま使用できる薬に関しては、院内で服用できるようにする準備などを行っています。



薬剤科長 伊藤 誠紀

多職種で行う入院時カンファレンスにも薬剤師の参加が求められています。カンファレンスでは、持参薬の中から必要な情報を他の医療スタッフにも提供しています。

またチーム医療にも深い関わりも求められるようになりました。感染制御・緩和ケア・栄養サポート・褥瘡対策などのチームがあり多職種にわたってそれぞれ専門のメンバーが集まる中で、薬剤師として薬に関する職能を発揮して患者さんへの治療により早くよりの確に対応できるように努力しています。

また中心静脈栄養点滴などをする時には感染のリスクを減らすために、清潔な環境で無菌的に注射薬の混合を行ったり、がん化学療法時の抗がん剤の混合も行っています。

薬学生の実習受け入れも重要な仕事です。大切な薬剤師の卵ですから、優しく時には厳しく育てています。

医療の現場から薬剤師参加への要望が多くなっています。当薬剤科は薬剤師10名、薬剤助手1名のメンバーでよりよい医療を提供するために院内を飛び回っています。

お問い合わせやお気づきのことがあれば、窓口にお気軽にお越しください。



緩和ケアチーム

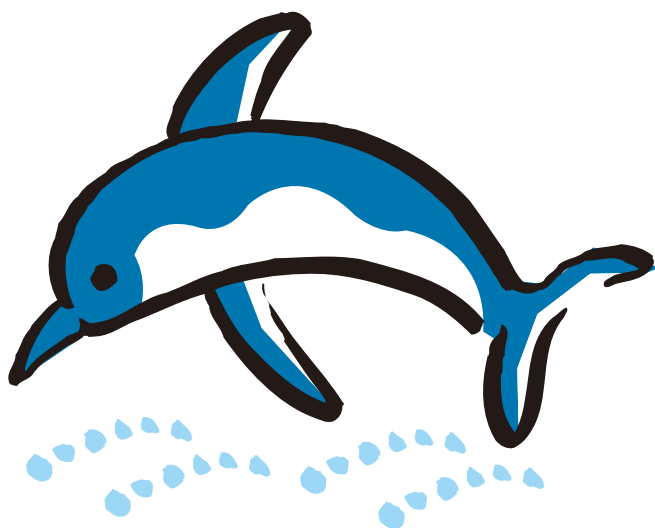


南1階病棟副看護師長 伊藤 真理

緩和ケアという言葉が様々なところで耳にするようになりました。緩和ケアはその人にある苦痛を少しでも軽減でき、よりよい生き方ができるようにするという考え方です。以前はがんの患者さんや終末期のみを対象としている印象が強かったと思います。しかし緩和ケアはがんの方や終末期の患者さんのみを対象としているわけではありません。また、身体の痛みだけをみるものでもありません。病気になると身体的（痛み、倦怠感、呼吸苦など）・精神的（気分が沈む、眠れないなど）・社会的（家族関係、金銭面など）に何らかの苦痛が生じます。また、自分の生きている意味を見失ったり、自分がなぜ病気になったのか信じられないといったなどによるスピリチュアルな苦痛も出現すると言われています。そのような苦痛は全疾患に共通し、どの時期にもあることだと思います。更に、最近ではエンドオブライフケアという考え方でも

のように自分の人生の最期をプランニングしていくかを医療者と一緒に考えて行くことが少しずつ広まってきています。

当院には緩和ケアチームがあり、多職種で構成されています。医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士で患者さんの症状や苦痛に合わせて関わります。治療に関することやそれに伴う身体症状・不安などだけでなく、患者さまに寄り添っている家族の方の不安に関しても関わらせていただきたいと思います。お気軽に病棟スタッフにお声かけください。少しでもみなさまの不安軽減に貢献できるよう努めたいと思います。



トピックス

第10回東名セミナーを開催しました

庶務班長 廣内 雅樹



東名古屋病院が地域に開かれた病院に、また、患者さんや地域の皆様に親しまれる病院に生まれ変わろうとしていることをアピールし、地域の方や医療関係者の方々に役立つ、様々な医療情報を継続して発信することを目的として10月4日(土)に第10回目の「東名セミナー」を開催しました。

メインテーマ：「肝臓病診療の最前線」

日時：平成26年10月4日(土)

13:30～16:00

場所：東名古屋病院 体育館

内容：講演 「肝臓病の予防と診療」

13:40～14:30

愛知医科大学 中尾 春壽 消化器内科教授

健康フェア(健康チェックコーナー) 14:30～16:00



中尾教授



向かって左より現院長、前院長



健康フェア

当日は、健康フェア同時開催ということもあり、開始前より長蛇の列になってしまい準備が至らなかった点、まずは深くお詫び申し上げます。総計で226名の皆様にご参加いただくことができました。

今回は「肝臓病の予防と診療」がメインテーマで、内海眞前院長と野浪敏明現院長の開会のご挨拶を皮切りに、愛知医科大学中尾春壽消化器内科教授をお招きし、慢性肝炎・肝硬変・肝がん・非アルコール性脂肪性肝炎の内容を、肝臓という臓器の説明から丁寧な解説により、すべてを網羅した詳しい講演をしていただきました。参加者の方からは、もっと、聞きたいとの声でしたが、時間の関係上、やむなく健康フェアに移らせていただきました。昨年まで7月に開催していた健康フェアでございますが、今回は、この時期に開催とさせていただきました。講演者や当院医師・コメディカルによる医療相談や血管年齢、骨密度、バランスチェック、酸素飽和度測定、ロコモティブシンドロームなど、短い時間ではありましたが、アットホームな雰囲気で開催させていただきました。尚、健康フェアにつきましては院外でも開催しておりますので今後も御期待ください。次回も皆様に喜ばれるセミナーを目指しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室

介護保険認定の流れについて



医療社会事業専門員
船橋 良太
(ケースワーカー)



医療社会事業専門員
長谷川 弘明
(ケースワーカー)

明けましておめでとうございます。今号では、地域医療連携室から皆様に身近な介護保険の申請方法について、ご紹介をさせていただきます。

介護保険は、在宅での各種介護サービス、または施設入所のために利用します。基本的に65歳以上の方、及び40歳以上の特定疾病（※下記の一覧を参照下さい。）に該当した方が対象となります。手続きには1ヶ月程度の時間を要します。退院日まで認定が下りず、困る事が無い様に、利用を希望される場合は、お早目に下の図を参考に手続きを行ってください。

①申請…住民登録のある市区町村役場、介護福祉課窓口へ申請。（本人または家族申請）

②訪問調査…調査員が患者さんを訪問し、心身の状況や特別な医療について調査を行います。主治医意見書…役所から主治医へ依頼。病気について記載をします。

③審査・判定…申請から決定まで約1か月かかります。

④認定・通知…要支援1から要介護5の通知が郵送で送られてきます。

⑤⑥サービスの選択・ケアプランの作成…必要なサービスをケアマネジャー等相談し決定。

地域医療連携室にて、更に詳しく介護保険制度や利用可能なサービス、ケアマネジャーなどについてご説明をさせていただきます。

16の病棟

「40～64才 16種類の申請対象疾患」

- ①末期がん（医師が、一般に認められている医学的知見に基づき、回復の見込みがない状態に至ったと判断したもの）
- ②筋萎縮性側索硬化症 ③後縦靭帯骨化症 ④骨折を伴う骨粗しょう症
- ⑤多系統萎縮症 ⑥初老期における認知症 ⑦脊髄小脳変性症
- ⑧脊柱管狭窄症 ⑨早老症
- ⑩糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症および糖尿病性網膜症
- ⑪脳血管疾患（外傷性を除く）
- ⑫進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症およびパーキンソン病
- ⑬閉塞性動脈硬化症 ⑭関節リウマチ ⑮慢性閉塞性肺疾患
- ⑯両側の膝関節または股関節に著しい変形を伴う変形性関節症

申請手順のフローチャート図



新任医師紹介



総合内科医師 龍華 朱音

10月16日より当院総合内科医師として着任いたしました。

どの様に疾患と対峙するのか、そしてどう付き合っていくのか…同じ病気でも患者様の年齢や社会背景、家族構成などにより問題点は変わってきます。患者様が何にお困りなのかを傾聴し、他科やコメディカルスタッフと連携しながら、全般的にサポートできるよう取り組んでいきたいと思っています。



旧年中は当院事業にご協力を賜り厚く御礼申し上げます

本年も地域の医療・福祉の向上に精励努力いたしますのでご指導 ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます

平成二十七年 元旦

独立行政法人国立病院機構東名古屋病院

院	長	野	浪	敏	明
副	院	小	川	賢	二
臨	床	岡	村	菊	夫
内	科	犬	飼		晃
外	科	加	藤	俊	之
リ	ハ	饗	場	郁	子
看	護	服	部	み	糸
職	員	一	同		

外 来 案 内

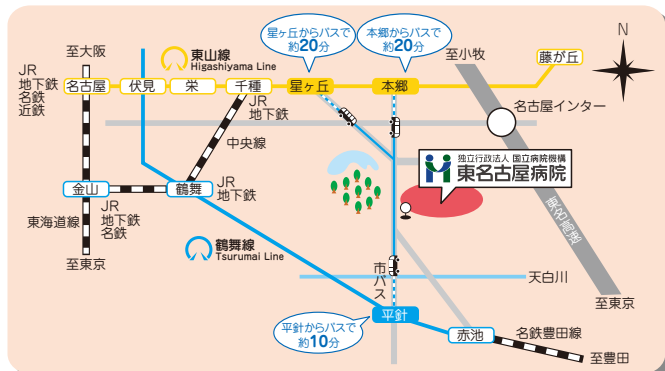
■診療受付時間	午前8時30分～午前11時まで（緊急の場合はこの限りではありません）
■診療開始時間	午前9時～
■休 診 日	土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）
■初診時の特別料金	他の医療機関等からの紹介ではなく、直接当院に来院された患者さまは、初診にかかる費用として、2,160円（税込）をいただいております。ご了承下さい。 ただし、緊急その他やむを得ない事情により他の医療機関からの紹介によらず来院された場合にあってはこの限りではありません。

外来診察担当医表

（平成27年1月1日現在）

診 療 科	月	火	水	木	金
（初診）	足立 崇	中村 俊信	林 悠太	山田 憲隆 中川 拓 第1・3 第2・4・5	垂水 修
呼 吸 器 内 科	垂水 修	清水 信		足立 崇	林 悠太
	中川 拓	山田 憲隆	中川 拓 小川 賢二 第1・3 第2・4・5	小川 賢二	中村 俊信
循 環 器 内 科	野田 浩範	野田 浩範	早野 真司	野田 浩範	田中 哲人
（初診）	犬飼 晃	後藤 敦子	横川 ゆき 橋本 里奈 第1・3・5 第2・4	饗場 郁子	齋藤由扶子
神 経 内 科	饗場 郁子 横川 ゆき	片山 泰司 榊原 聡子	犬飼 晃 後藤 敦子	齋藤由扶子 橋本 里奈	榊原 聡子
消 化 器 内 科	横井 美咲	高橋 宏尚	横井 美咲	小林 慶子	高橋 宏尚 小林 慶子 （交代制）
呼 吸 器 外 科			山田 勝雄		
外科・消化器外科	渡邊 正範	加藤 俊之 野浪 敏明	藤崎 宏之 野浪 敏明	永田 博 加藤 俊之	渡邊 正範
肛 門 外 来	渡邊 正範	加藤 俊之	藤崎 宏之	永田 博	渡邊 正範
乳 腺 外 科	遠藤登喜子 林 幸枝 8:30～11:00, 13:30～15:30	遠藤登喜子 8:30～11:00, 13:30～15:30	遠藤登喜子 8:30～11:00, 13:30～15:30	小川 弘俊 13:30～15:30	遠藤登喜子 角田 伸行 8:30～11:00, 13:30～15:30
整 形 外 科	小川 義和 金子真理子			金子真理子	
リ ウ マ チ		大場 満成	衛藤 義人		大場 満成
脳 神 経 外 科		大場 満成	衛藤 義人		大場 満成
					竹内 裕喜
泌 尿 器 科	岡村 菊夫		青田 泰博 岡村 菊夫 午前 13:30～15:30 女性泌尿器科外来		岡村 菊夫
精 神 科					宇佐美 敏
総 合 内 科	間宮 均人	内海 眞	間宮 均人	内海 眞	
血 液 ・ 腫 瘍 内 科	神谷 悦功	水谷 武史 小椋美知則 午前 午後（隔週）	清水 一之 8:30～11:00, 13:30～15:30	神谷 悦功	
禁 煙 外 来		（予約制） 13:30～14:30			
内 分 泌 内 科				大竹 裕子	村瀬 孝司 第1・3 丹羽 靖浩 第2・4 山田 努 第5
小 児 科	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子
皮 膚 科	清水 眞		村嶋 寛子	田中 伸 第4 12:45～14:45	長谷川春奈
歯 科 口 腔 外 科	奥村 秀則	奥村 秀則	奥村 秀則 午前 午後（第3水曜休診）	奥村 秀則	奥村 秀則
ド ッ ク	外来人間ドック （予約制）				

※予約制は再来診の場合のみです。初診の場合は通常どおりの診療となります。
 ※救急診療は、時間外・休日も行っていますので、時間外窓口にご連絡下さい。（052-801-1151）
 ※当院では、隔週月曜日に外来人間ドック（予約制）を行っていますのでご利用下さい。
 ※セカンドオピニオン外来（予約制）を行っていますのでご利用下さい。
 ※小児科・禁煙外来は完全予約制です。
 ※女性泌尿器科外来・乳腺外科・血液・腫瘍内科 午後（隔週）の受付時間は15:30までとなっております。



- 地下鉄東山線星ヶ丘駅下車
 - ・市バス③番のりば 東名古屋病院行き 梅森荘行き } 約15～20分 東名古屋病院にて下車
 - ・星ヶ丘よりタクシーにて約15分
- 名鉄豊田新線・地下鉄鶴舞線赤池下車
 - ・タクシーにて約8分
- 地下鉄鶴舞線平針下車
 - ・市バス①番のりば本郷行き約10分 東名古屋病院にて下車
 - ・タクシーにて約8分
- 地下鉄東山線本郷駅下車
 - ・市バス①番のりば地下鉄平針駅行き15～20分 東名古屋病院にて下車
- 東名高速道路名古屋インターより車で約20分